



田園

平成23年6月

Vol. 15

発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部会
印刷／株式会社山口県農協印刷

山口国体を盛り上げよう

名田島自治会連合会 会長 藤山 光美

十月に『おいでませ！山口国体・山口大会』が開催されます。地域、市、県や国を挙げての一大イベントです。名田島におきましても、十月七～十日に南総合センタで成年女子バレーボール競技が行なわれます。

当地でも、これまで花いっぱい運動、ミニちようちん作り、清掃活動、炬火イベントなどに参加し、また名田島の案内のために自治会連合会で「ふるさとマップ」作りなどを行い、機運が盛り上がりつつまいました。

本番におきましては、会場や沿道を清掃・整備し、花で飾り、来訪される選手や観客を温かいおもてなしの心で歓迎しましょう。

スポーツは、競技者のみでなく観衆にも元気を与えます。競技者のプレーが観衆を鼓舞し共感を呼び、それがまた競技者に還っていきます。競技者には、観衆の応援がなによりのお礼の贈り物です。会場を埋め尽くし、大きな声で応援しましょう。



地区民体育大会入場行進

最近、全国的・世界的にスポーツや健康に対する関心が高まっています。名田島地区におきましても、地区民体育大会や田園マラソン大会などがすっかり定着し、またコミュニティクラブなどを中心として各種スポーツが盛んになってきました。

国の大相撲では、昨年、醜聞を撥ね退けて、白鵬が見事六十三連勝を成し遂げ、力を示しました。

世界に目を転ずれば、昨年のサッカーワールドカップ南アフリカ大会で岡田ジャパンが見事に決勝トーナメントに進出し、世間を沸かせました。政情不安定な日本に一筋の光明と一体感をもたらしました。また、大リーグでのイチローや松井、松坂などの活躍は夢と希望を与えてくれます。

スポーツ競技に限らず、万事流れに乗ることが肝要です。地域から世界にわたるスポーツ界のこのような機運に乗り、山口国体を盛り上げ成功させたいものです。参加者全員に喜んでもらい、良い思い出にしたいただこうではありませんか。

どうぞ、ご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

自治会5部会のこの1年

総務部会

山口国体の協力 (花いっぱい運動の成功へ)

部長 井本 安臣

総務部会事業計画は

- 一、自治会連合会の拡充
- 二、国体協力
- 三、情報ネットワークの構築を
上げ、取り組みますが当面は、
① 東日本大震災で大きな被害
を受けた、岩手、宮城、福島
の三県においても山口国体に



ふるさと祭り(餅まき)



国体推進花

例年通りの規模で参加が決定しており、当山口南総合センターも十月七日～十日の四日間、成年女子バレーボールの会場となっています。

国体推奨花(サルビア、ブルーサルビア、マリーゴールド)の三種類を昨年同様に各集落分拍で一三〇個のプランターを実践栽培管理し十日前に会場周辺に飾り、山口国体

を盛り上げまた、国体クリーンアップ運動を九月二十三日、二十四日、二十五日、で環境美化清掃作業を実施し、「山口国体」を成功させたいと思えますので地域の皆様、また関係各位のご協力をお願いします。

- ② 地域づくりの課題である「住んでよかったと実感できる名田島」のため各種団体、役員と連携を密にして、各イベント企画運営助成協力をしていきますが、今回は特に十一月二十日の第四十回と節目の「名田島ふるさとまつり」の助成予算を増やしています。各イベント企画に皆様のご協力、参加をお願いします。

生涯学習部会

名田島ふるさとマップ案内 道標作り

部長 新谷 貴司

昨年作成された、ふるさと名田島のマップ完成に伴い、マッ



看板(見本)



プ内番号の場所道標、看板を作成し建立して行く事を目標に進みたいと思います。

メンバーとして(敬称略)岡本紀稔・山根義彦・木村恒之・伊藤武秀・徳光清志・藤井茂行・新谷貴司七名で実行して行く事にしました。

小学校改築の行程は昨年度の各関係機関との話合いの詰めが決定し、まず体育館の耐震補強から旧校舎の解体へと順を追って進行して行くものと思います。運動場の拡張は、上野保昌様の麦作取り込みが終了してから、グラウンド整備の話し合いになるのではと予想しております。グラウンド芝生化の課題もある様子で、この件は、前途多難な問題を含んでいると思います。樹木

移設問題もあり、教育振興会の皆さんも一生懸命に取り組んでおられます。皆様のご協力の程切望いたします。
「名田島みまもり隊」の皆様ご苦労様です。みまもり隊につきましても、私この度初参加で何も分からず諸先輩の方々のお話を聞き乍ら行動しています。
出来るだけ多くの日数見守り行動がとれるべく努力を重ねている処です。



見守り隊対面式



健康福祉部会

部長 有吉 一宇

今年度の健康福祉部会の主要項目は次の通りです。

健康に関する講演会

(講師:江里健輔・山口県立大学学長)
医学博士である江里氏は医学誌のみならず地方紙などにも執筆をされています。「どんな形でこの世と別れるのか」「認知症予防はあるのか」「何故女性が男性より長生きするのか」など掲載されたタイトルです。面白くそして考えさせられる講演会になると思います。

リサイクルマナーに関する講習会開催

容器包装・古紙・缶リサイクル等ありますがルールを守ったゴミ分別を徹底すること、ゴミから資源へ、が達成されゴミの減量化、環境保護につながります。

環境パトロール

不法投棄多発箇所のパトロール、「不法投棄禁止」看板周りの整備、雑草刈りを適宜行います。

福祉活動への協賛

サロン活動などへの協賛を行います。また、見守り訪問活動をより充実させていくために、各単位自治会への働きかけを考えています。

空き家、空き地の情報提供

名田島で十六軒の空家があります。利用を検討したいという方(個人、団体)には住所などお教えできます。また、何処に空き地があるのか情報収集を行います。

世代間交流

世代間交流の一環として『どんど焼き』への協賛、『名田島を考える会』会合等への参加を考えています。



会議の様子

生活環境部会

部長 秋本 安男

生活環境の改善、安心な生活環境のための取り組み

各種関連団体及び地域交流センターと連携し、名田島地域での道路、河川、里山の整備及び安全対策、美化運動、交通安全・防犯対策の推進を図る部会です。平成二十三年度の活動計画

① 道路、河川、里山の整備、安全対策の推進

イ 未解決「要望事項」の着工を行政等へ再度陳情を行います。

ロ 「要望事項」を各集落に提出依頼、取りまとめ、仕分けを行い行政及び関係者

② 環境美化

イ 各種団体と協働支援による草刈・清掃活動を実施予定

ロ 道路環境美化
各集落において清掃活動交付金として、最高四万円を交付し、実費請求してもらいます。

ハ 名田島ボランティアクラブ(代表大林基宏氏他十六名)が引き続き会員の募集を行っています。

③ 交通安全・防犯対策の推進
防犯灯の電球をエコ対応のLED電球に順次更新する計画です。

④ 植樹推進
平成二十二年より、新規事業として、未来に美しい景観を残す地域づくりで、桜等



現地パトロール

の植樹を行うこととしていますので、各集落で計画があればお知らせ下さい。

生活環境部会に地域の皆様のご協力ご支援をよろしくお願い致します。

防災部会

部長 中村 芳男

安心して暮らせる地域を目指して



土のう作り

自主防災会として二年間活動し平成二十年に自治会連合会の防災部会として四年目に入りました。

今年三月十一日、東日本大震災は東北、関東地域に未曾有の災害をもたらしました。

亡くなられた方又被災された方にお見舞い申し上げます。被災者の皆さまの一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

常日頃の防災意識の高揚が必要と考えています。今年度防災委員を中心に八月二十八日曜日に地域交流センターを拠点で向山集落を対象として、避難訓練、全集落を対象として、



炊き出しの様子

情報伝達訓練の実施を考えています。炊き出し委員の協力を得て非常食を作っていたり、ことにかけています。

尚、一月十日に防災委員と消防団員のご協力で名田島小学校の東側、新開作西集会所の二か所に土のう各一か所に二〇〇袋ずつ備蓄しました。緊急時に必要になったら各集落の防災委員に申し出て使って下さい。最後に関係機関の、ご指導、地区の皆様のご協力をお願いいたします。

国体コーディネーター

「地域あげての国体に！」

末永 祥子



表彰式



炬火イベント

いよいよ十月に、「おいでませ！山口国体・山口大会」が開催されます。

四月の名田島地区民体育大会では、炬火イベント「みどりの大地 名田島の火」を行いました。当日は、風が強く火起こしは大変な作業になりましたが、皆さまに協力していただいたおかげで「名田島の火」を採火することができました。心よりお礼申し上げます。

山口市では、十二の正式競技と二つのスポーツ行事が各会場で開催されます。名田島では、山口南総合センターが、成年女子バレーボール競技の会場になります。良い機会ですので、ぜひ足を運んでみてください。七月からは、「花いっぱい運動」が始まります。会場をたくさんのお花で飾り、山口に来られる選手や観客の皆さまをおもて

なしの心でお迎えします。その他にも、「国体クリーンアップ運動」や「国体ボランティア活動」など、様々な場面で、皆さまのお力が必要となります。ご理解とご協力をお願いします。



名田島地域交流センター

「地域活動」

所長 吉武 秀行

交流センターに配属されて早くも二ヶ月が経ちました。様々な団体の総会や役員会等に出席させていただき、名田島地区のために活躍されている多くの方々にお会いし、また、地域の



中にも少しずつ溶け込めるようになりました。団体の役をされている方は、それぞれ献身的に活躍されているのももちろんですが、驚いたのは複数の団体に関わっておられる方が多くいらつしやることです。複数に所属するということは、見識も豊かになり広い視野が持てることで、ある面有意義と考えますが、時間を奪われ、本人も家族も犠牲になっている部分が多くあるのではないかと心配です。地域活動にはマンパワーと持久力が要求され、多くの実働隊と多くの理解者が必要です。名田島地区には有能な人材がまだまだ身をひそめておられるのではないのでしょうか？でも、遠慮はいりません。今日から地域活動に皆さんとともに汗を流して下さい。そして明るい名田島の未来を築いていただくことを期待しております。



①大佛寺
曹洞宗の寺で直指山大佛寺という。十一面観音が本尊で観音大菩薩像でもある。寺伝によると、寛保4年(1742)、大高部の小松にあった栗ノ坊を移したの始まる。延享元年(1744)大佛寺と改められ現在の地に建立されたといふ。



②田中馨雲彫刻作品「清浄観音」
田中馨雲は明治22年(1889)東馬関作に生まれる。高村光景の高弟として密教を学び数々の作品展で優れた賞を獲得され、中央美術界ではもとより郷土にも多大な貢献をされた。名田島には100を超える作品がある。



③櫻井慎平の墓
櫻井慎平は名田島の大家屋林本家の出で、改姓し櫻井と名乗った。幕末各地に諸藩が編み込まれ、自ら一隊を組織し、集結隊を結成した。後に銅像と改称し成務に参画した。維新後官吏となり、後に金沢裁判所長となり、金沢で没した。



④六神社
島の内に鎮座の神社で、中心庭園、多岐津命、市杵島姫命、採食神、仲夏天皇、神功皇后の六座を祭っている。島を開墾したとき、この社を建て守った。今の社殿は幕末に建つた。



⑤手水川
島の内に手水川という今もって流れていない流れない清水の流れるところがある。昔、神功皇后が三韓征伐に行かれる時、ここで霊泉に面影をうつし島明神に戦勝を祈願されたといわれ、面影川ともいう。



名田島
ふるさとづくり



名田島地域づくり協議会



⑥森重雪島先生の碑
名田島における唯一の面影で、雪島と名乗り南遊をもって近郷に開いてきた。明治維新の戦役に従い、その後職に帯り画筆に親しみ多くの子弟を教えた。島中山墓地には、門人達によって建立された「雪島重雪先生之碑」がある。

⑦皇后岩
島の南の田の中に皇后岩という巨石の群が林に囲まれている。この場所は以前、海であったといふ伝説によると、昔、神功皇后が三韓に軍を進められたとき、ここに御船をつなぐために休憩されたので、その名が残ったといふ。

⑧六神社御旅所
西開作の開墾口はその昔、藩や知行所の「米の積出場」であった。島における名田島の御旅所はこの地であり、春の大祭には神輿舞臺がある。同地には地藏殿、住吉大明神祠堂、庚申祠堂がある。

名田島の生い立ち
名田島という地名がいつごろから用いられたかは不明である。山口名勝旧蹟誌には、慶安3年(1650)の御開作から公式の文書に載せられたと記されている。
しかし、応安4年(1371)ごろの今川貞世の『道ゆきぶり』に「なた島かた云々」と述べられており、これより以前に「なた島」という名があったことは疑いなくもない。もちろん、当時は小郡内の一の島で、管轄は高上庄の陶村に属していた。しかるに、後年に至りこの小丘陵を中心に周囲の干潟が逐次干拓されて耕地となって来たので、正徳年中(1711～1715)に陶村から独立した。独立するまでの干拓は、長妻開作(1626)、慶三開作(1650)、元禄開作(1690年、西開作、東開作)。その後、1774年に安永開作(新開作)が、昭和5年に昭和開作が完成し、現在では、県下でも名だたる穀倉地帯「名田島」となっている。

表紙写真説明
「周防灘干拓遺跡名田島新開作南蛮橋」(国指定史跡)
安永3年(1774)に築造された「新開作南蛮橋」。平成8年3月28日に山陽小野田市の「高沼開作浜五垣遺跡」(1857年に五垣に増設された)と合わせて「周防灘干拓遺跡」として国の指定史跡となりまし。

歴史でも、近世の周防灘における乾拓による干拓の実態を伝える貴重な遺跡で、切石積みによる精緻な構造は当時の土木技術の到達点がよく示されています。
主要な構材は花崗岩の石材を積み上げた石垣でつくられ、石の間に土を詰め、潮をゆるめ、土を固める。潮をゆるめ、潮と干潮の差、堰を上下に動かして、潮をゆるめ、また、排水してました。南蛮橋は、西側に三層橋、東側に四層橋がある。



⑩大樋門と第1排水機場(左奥)
手前は、名田島の約550畝の干拓から放出する用・排水を山口湾に放出させる電動式の大樋門。幅1.5に、高さ2.25の樋門が7門設置されている。左奥は、120馬力のエンジンがついたポンプが台座する第1排水機場。



⑨新開作三神社
安永3年(1774)に新開作の鎮守のため創建された。祭神は神津見神、三女神、倉稲魂神。大正15年に新開作西馬関で祭られていた天満宮が明境内に合祀された。7月に由緒祭と管笠祭が10月に大祭が行われている。



⑪火の山
名田島の東にそびえる火の山は山頂に狼煙場があったといわれている。標高303.6に、外敵の襲来を察知するための山で、今もその名がある。ふもとには華光寺という寺があり、ここが登山口となっている。



⑬向山三神社
向山に鎮座している神社で祭神は応神天皇、三女神、神津見神の三座で、三神社といわれている。元禄2年(1689)この地の開拓の鎮守としたのがはじりである。今の建物は幕末に建立されたものである。



⑫佐分利郎
佐分利氏は向山における田家で代々医を業とし、この地方の重鎮であった。毛利藩の攘夷戦争に際し諸藩が結成された時、佐分利氏を組織し新開作の極野川沿いの警備にあたった。屯所跡に長屋門等が残っている。

⑨顕徳碑
藩政時代小郡藩の大庄屋を代々勤めた林本家は大いに栄えた家、唐島における名田島の発展に功があった。寺澤氏は学校創設に尽力し、高橋氏は同校の校長として子弟の教育にたどり、功績大たるため門下生によって碑が建てられた。

⑪岩屋山地蔵院
真言宗の寺で本尊は延命地藏菩薩である。宝暦6年(1756)に長門という僧が寺を再建し岩屋山地蔵院と称したといふ。その後地蔵院といわれるようになり、境内には巨岩が多く岩を利用し石仏や石塔が安置されている。

平成23年度 名田島自治会連合会予算書

〔収入の部〕				(単位:円)
自治会費	22年度予算 562,800	23年度予算 559,200	比較増減 △3,600	摘要 466世帯×1,200 559,200
補助金	6,000,000	8,182,643	2,182,643	地域づくり交付金 前年度分 855,400 地域づくり交付金 6,668,243 市道美化清掃補助 500,000 国体推進事業交付金 146,000 緑化奨励金 13,000 法人寄付 70,000 貯金利息 1,000
雑収入	56,000	71,000	15,000	
前年度繰越金	1,385,837	926,006	△459,831	
合計	8,004,637	9,738,849	1,734,212	
〔支出の部〕				(単位:円)
会議費	400,000	400,000	0	摘要
負担金	50,000	50,000	0	
事務費	1,800,000	2,340,000	540,000	人件費 2,040,000 リース代 40,000 コピー代 60,000 その他事務費 200,000
備品費	300,000	300,000	0	
交際費	50,000	50,000	0	
交通費	100,000	100,000	0	
研修費	100,000	100,000	0	
総務部会	950,000	1,450,000	500,000	田園印刷代 200,000 国体協力 150,000 田園マシソン補助 100,000 地区民体育大会 100,000 ふるさとまつり補助 350,000 フリーマーケット補助 100,000 総会資料印刷 150,000 広報活動費 300,000
生涯学習部会	300,000	300,000	0	見守り隊 50,000 ふるさと探訪 150,000 小学校改築工事対応 100,000
健康福祉部会	300,000	300,000	0	若者定住促進 35,000 リサイクルマナー向上 35,000 世代間交流 50,000 食の安全研修 160,000 環境パトロール 5,000
生活環境部会	3,000,000	3,300,000	300,000	土木 法定外公共物 500,000 土木 単市土地改良 1,200,000 市道美化 520,000 生活環境事業 300,000 防犯灯 230,000 カーブミラー 120,000 その他 430,000
防災部会	200,000	450,000	250,000	防災訓練 150,000 その他 300,000
予備費	454,637	598,849	144,212	
合計	8,004,637	9,738,849	1,734,212	

平成23年度事業計画

- 活動方針**
- 1 本連合会の主な役割を、情報の共有及び協働による地域づくりの場とする。
 - 2 各種団体の主体性・自主性を尊重し、連携・調整を密にする。
 - 3 計画の策定及び実行は、衆議をもって決する。
 - 4 本年を連合会の発展の年とする。
 - 5 各部会は、地域づくりに創意工夫を加える。
- 事業計画**
- 連合会全般**
- ・名田島各種会議〔総会・役員会・(運営)委員会〕の開催
 - ・山口市自治会連合会行事〔総会・勉強会・研修会〕、山口市行事〔移動市長室・市政懇談会〕、山口市南部地区行事〔連絡協議会・事務局情報交換会〕への参加と開催
 - ・IT化対策(ホームページの開設)
- 総務部会**
- ・連合会の拡充(地域づくり計画の推進、名田島将来ビジョンの策定)
 - ・イベントの企画・運営協力・助成、国体協力
 - ・広報の発行、情報ネットワークの構築
- 生涯学習部会**
- ・ふる里探訪(史跡等の整備、クリーンアップ運動への参画)
 - ・小学校改築工事に伴う対応(市教委との情報交換、構内の樹木処理、運動場の芝生化、学童保育実施の検討)
 - ・通学路の安全対策、見守り隊活動の推進
- 健康福祉部会**
- ・少子高齢化対策(世代間交流事業、若者の定住促進、他)
 - ・食の安全安心(残留農薬研修実施)、リサイクルマナー向上運動
 - ・環境パトロール(不法投棄防止対策)
- 生活環境部会**
- ・道路、河川、里山の整備及び安全対策(要望事項)の推進
 - ・美化運動(クリーン作戦)、植樹運動の推進
 - ・交通安全・防犯対策の推進
- 防災部会**
- ・防災・防火訓練の実施、防災資機材の備蓄・管理
 - ・災害時(洪水、台風)見回り
 - ・災害時要援護者対策(避難訓練、マップ作り)

役員紹介

	会 長	藤山 光美	(新開作東自治会)				
	副 会 長	伊藤 武秀	(新開作沖自治会)				
	副 会 長	松永 君子	(婦人会)				
	会 計	宮崎 祥治	(4号委員)				
	監 事	中村 治美	(防犯対策協議会)				
	監 事	佐藤 勉	(消防後援会)				
総務部	会 長	井本 安臣	(島下自治会)	委 員	廣島美代子	(福祉員協議会)	
"	副 会 長	河村宗一郎	(西開作下自治会)	"	石川 秋彦	(老人クラブ連合会)	
	委 員	藤山 光美	(新開作東自治会)	"	開地 和子	(高齢者生きがいセンター)	
	"	伊藤 武秀	(新開作沖自治会)	"	亀井ひろ子	(母子保健推進協議会)	
	"	松永 君子	(婦人会)	"	田中 澄子	(母子寡婦福祉会)	
	"	宮崎 祥治	(4号委員)	"	金子嘉代子	(みどりの会)	
	"	林 政雄	(社会福祉協議会)	"	西村 洋子	(更生保護女性会)	
	"	木村 恒之	(地域交流センター運営協議会)	"	山根 悦子	(食生活改善推進協議会)	
生涯学習部	会 長	新谷 貫司	(東開作自治会)	生活環境部	会 長	秋本 安男	(新開作西自治会)
"	副 会 長	山根 義彦	(人権教育推進協議会)	"	副 会 長	岡野 元	(島上自治会)
	委 員	徳光 清志	(向山中自治会)		委 員	末本 博成	(向山上自治会)
	"	藤井 茂行	(昭和東自治会)	"	"	中村 治美	(防犯対策協議会)
	"	木村 恒之	(地域交流センター運営協議会)	"	"	浅原 利夫	(交通安全対策協議会)
	"	山本 浩之	(社会教育後援会)	"	"	浅川 雅浩	(山口中央農協名田島支所)
	"	中村 芳男	(青少年健全育成地区民会議)	"	"	河村 博次	(樵野川東土地改良区)
	"	松永 君子	(婦人会)	"	"	田中 省治	(農業委員)
	"	田中 雅史	(体育協会)	"	"	岡村 陽司	(郵便局)
	"	山下 宏	(コミュニティクラブ)	"	"	丹後 英樹	(山口南総合センター)
	"	岩本 史枝	(地域交流センター利用団体)	防 災 部	会 長	中村 芳男	(昭和東防災委員)
	"	武田多恵子	(子ども会育成連絡協議会)		副 会 長	末永 林万	(消防団川東方面隊第3分団)
	"	守田 恭子	(小学校)		委 員	佐藤 勉	(消防後援会)
	"	大村 繁昭	(小学校教育振興会)	"	"	池辺 明子	(島下炊き出し委員)
	"	河村 英和	(小学校体育施設連絡調整会議)	顧 問	大林 基宏	(初代会長)	
	"	古川 恵子	(幼稚園)	顧 問	岡本 紀稔	(前副会長)	
	"	保坂 孝男	(幼稚園三葉会)	参 与	田中 敏昭	(前教育部会長)	
健康福祉部	会 長	有吉 一字	(向山下自治会)	諮 問 機 関	原田 学	(名田島を考える会)	
"	副 会 長	坂田 昭和	(昭和西自治会)	事 務 局 長	田中 澄子	(事務局)	
	委 員	西村 一朗	(西開作上自治会)	事 務 局 員	乗安ちとせ	(事務局)	
	"	林 政雄	(社会福祉協議会)				
	"	西村 哲郎	(民生委員児童委員協議会)				

地域交流センター
所 長 吉武 秀行
主 幹 横沼 浩

編集後記

自然災害に備えましよう
災害は、いつどこに襲いかかるか分かりません。名田島地区は干拓地だけに風水害や高潮への不安から逃れることはできません。
万一の災害に備え避難態勢を整えておきましょう。

